

上越教育大学振興協力会事務局便り

上越教育大学からのおたより

○18日（金）は卒業式

平成22年度学位記授与式及び卒業証書・学位記授与式を、18日（金）に本学講堂で举行します。今年は大学院修了生266人と学部卒業生166人が本学を巣立ち、教育現場などそれぞれの道に進んでいきます。卒業式間近の学生さんは4月から始まる新生活の準備に慌ただしい中、共に学んだ仲間と旅行に行くなど残り少ない学生生活の思い出作りもしているようです。



○小川未明シンポジウム開催

本学教授小笠裕二主宰の小川未明童話研究会主催記念シンポジウム「没後50年小川未明童話の再検討」を20日（日）13:00～17:00まで、講義棟301教室で開催します。上越高田出身の小川未明はその生涯に1200編もの童話を書き、特に「赤い蠟燭と人魚」や「野ばら」などが有名で「日本のアンデルセン」とも称されています。時代とともに作風を変えながら未明が書いた童話を再検討します。入場料は無料で予約不要、定員300名先着順。

問い合わせ 小笠研究室 ☎521-3316 メール yuji@juen.ac.jp まで。

○平成22年度 国際交流のつどいを開催

国際交流のつどいを1日（火）に本学大学会館の第1食堂で開催しました。日頃留学生がお世話になっている皆様を迎えて、本学教職員や留学生、チューター等と交流し親交を深めると共に、本学における国際交流の現状報告や留学生の体験発表が行われました。現状報告では留学生がお花見や民謡流しを楽しむ様子に加えて、今年度本会で開催した料理教室の様子も紹介されました。また、代表して2人の留学生から、留学して間もない頃の苦労したことから現在は充実した留学生生活を送っていること、お世話になった担当教員や仲間、地域の方への感謝の気持ちが述べられました。その後の懇談会では留学生によるアトラクションも行われ、楽しい時間となりました。



○平成22年度 留学生発表会を開催

平成22年度留学生発表会を1日（火）に本学人文棟教室で開催し、この3月で本学の留学生生活を終える4人の留学生が成果発表を行いました。チェコからの留学生で博士課程3年のゴーホリ・ヨゼフさんは、テーマ「うちとそとー外国人留学生の立場からみた日本ー」と題して発表しました。ヨゼフさんは日本語を覚えることが基本であり、充実した学生生活や研究活動を行うためには欠かせないことや日本を外国人の目線で見比べて比較できる留学生の利点を活かして、客観性や説得力がある論文作成が重要と述べ、論文作成は日本語にはじまり日本語に終わる、と語りました。



○芸術系コース（美術）卒業・修了研究展を開催

本学芸術系コース（美術）の卒業・修了研究展を2月16日（水）～20日（日）まで、小川未明文学館（高田図書館内）で開催しました。今年度卒業・修了する学生9人が本学で学んだ成果となる作品を展示しました。16日には、今年度から初の修士論文発表会を展示会場で行い、学外で研究成果を発表しました。今年は9人と人数は少なめですが、絵画、デザイン、陶芸など約20点の作品が展示されまし



た。普段使う食器を一揃い作った陶芸作品や、絵画と自分のアトリエの一部を再現した作品などユニークな展示が見られました。

○講演会 第2回「留学生が語る／留学生と語る会」を開催

平成22年度第2回「留学生が語る／留学生と語る会」が、1月25日（火）本学講義棟201教室で行われました。これは本学の留学生に自国の文化や歴史、日本の印象などを語ってもらう会で、今回はベトナムのハノイ出身のファーム ティ トウ ハさんが「ベトナム国・戦争と平和」と題して講演しました。



ベトナムは東南アジアでインドネシア、フィリピンに次ぐ人口が多い国で、首都は北部にあるハノイ。北部は四季がはっきりした気候で、南部は亜熱帯で蒸し暑く雨期と乾期があります。気候の違いによって食文化も異なり、北部は塩辛い味付けや油っぽい食事、南部はハーブを多用し味付けも甘辛くココナッツをよく利用するそうです。民族衣装として有名なアオザイは元々宮廷の貴族が着用していた服で、現在ではベトナムの女子高生や大学生の学生服になっています。

また、ベトナムの歴史も紹介され、1975年に終戦したベトナム戦争について写真や映像を交えながら説明されました。

○健康増進講演会を開催

平成22年度健康保持増進講演会を1月19日（水）に本学講義棟301教室で開催しました。本学職員や学生に健康保持増進の重要性等について理解を深めてもらうため、内科医で本学教授（保健管理センター所長）の上野光博と精神科医で本学教授の増井晃が講演しました。



増井教授は「睡眠と健康」と題して、睡眠の効果や睡眠障害や治療法について説明し、自分に適した睡眠を見つけて実践することを働きかけました。また睡眠も大切だが心の健康も大切として、ワークライフバランスを推進し、コミュニケーションが取れる働きやすい環境を整えることの重要性を訴えました。

上野教授は「本学における禁煙支援」と題して、禁煙のメリットやこの春から本学で実施する「キャンパス敷地内全面禁煙」と4月以降に保健管理センターが行う「禁煙支援体制」について説明を行いました。禁煙はいつからやってもメリットがあり、個人だけでなく職場においてもメリットがあるとし、喫煙者へのサポートも大事にして本学の全面禁煙化を進めていきたいと語りかけていました。

振興協力会からのお知らせ

○「山ろく線サッカークリニック」が無事終了

2月27日（日）に行われた本会が支援する、大学の地域連携事業「山ろく線サッカークリニック」が無事に終了しました。今回は、講師の日本サッカー協会キッズプロジェクト指導員の北野孝一氏を迎え、「子どもが主役ーめざせ、ベストサポーター！」として実技講習会と講義をサッカー指導者と保護者に向けて行いました。参加人数は講習会21名、講義22名で、真剣に講習や講義を受けていました。



発行・お問い合わせ先

〒943-8512


上越市山屋敷町1番地上越教育大学広報室内

上越教育大学振興協力会事務局

電話：025-521-3626 (FAX3627)

E-mail：kouhou@juen.ac.jp

教育者としての「使命感」・「人間愛」・「創造力」を
有する教員の養成を目指す

 **上越教育大学**
Joetsu University of Education

※事務局便りは本学ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.juen.ac.jp/contents/info/sinkoukyouryoku/index.html>